



## ゴキブリはどれくらい前からいるの

### ゴキブリは恐竜が現れる前からいた

地球ができたのは、今から46億年前ぐらいで、初めて生き物らしいものが、海の中に現れたのは、およそ35億年前といわれています。海の植物が酸素を作り出し、今のよう空気できて、地上に動物がすめるようになったのは、3億5000万年前ごろでした。

ゴキブリの先祖が現れたのは、発見された化石から、3億年前ごろということがわかっていて、今は絶滅してしまった恐竜が現れたのは、今から2億2000万年前ごろで、絶滅したのは6500万年前ごろです。

### ゴキブリは生きた化石ともいわれる

ゴキブリは、恐竜よりも早く現れて、しかも、現在のゴキブリと、3億年前の先祖とは、体のしくみや姿や形もあまり変わっていない、めずらしい生物です。たいていの生物は、周りの環境などの変化にあわせて、うまく進化したものが、生き残ってきました。今では、全世界で、3500種ぐらいのゴキブリの仲間がいます。

### 日本列島ができて上がる前からゴキブリがいた

山口県の大嶺というところで、ゴキブリの化石がたくさん見つかっています。この化石は、2億年前のものであることがわかりました。そのころは、まだ日本列島の形はできていなくて、アジア大陸の一部と、残りの大部分は浅い海でした。もちろん、日本人はまだいません。日本に人が住むようになったのは、せいぜい3万年か、4万年前ぐらいといわれていますから、ゴキブリのほうが、はるかに昔からいたということがわかります。

(監修・中山 周平)

